

◎昨年末中東カタールで行なわれたサッカーワールドカップ、ベスト8まであと一步のサムライブルーをはじめ、各国の超一流選手が話題や感動をたくさん与えてくれました。サッカー大好きな私も連日寝不足になりながら、充実した1か月間を過ごすことができました。◎今大会は良くも悪くも判定に関する話題が多く、「V.A.R」の認知度が非常に高くなりました。中には判定に納得がいかず、試合後審判に執拗に抗議する選手の姿も…。と思えば日本戦、PKで勝ったクロアチア選手は真っ先にキックを失敗した日本選手の所へ慰めに走った、こんな場面もありました。◎東京都文京区にある徳源院という寺の掲示板に『かんしゃくの「く」の字をすてて日をくらす』こんな句が掲示されていたそうです。～痲痺(かんしゃく)から苦(く)を捨てれば、残るのは感謝(かんしゃ)の心～ 関わる様々な人をリスペクトでき、携われることに感謝できる…運動遊びを通じてそんなことも子どもたちに伝えることができたら、と思っています。

## 親子で Let'sチャレンジ !! エクササイズ

ちょっとしたときに家でも簡単にできる遊びを紹介します。さあ、親子で Let's チャレンジ !!

### ※ 超簡単！新聞ボール遊び ※



⇒ 新聞紙を丸め、ボールをつくってみました。  
材料：新聞紙、布テープ  
※ 丸形にこだわらず 楕円形やデコボコでもOK ♪

「どうぞどうぞ遊び」  
向かい合いボールを受け渡し  
しましょう。



コロコロで…真つすぐ転がせるかな？



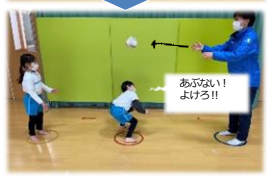
下手投げで…落とさないで何回できるかな？

「バランス遊び」  
もち、足の甲、おでこ、背中などに  
ボールを乗せてみましょう。



最初は大人がボールのをせてあげましょう。

「ドッジボール遊び」  
3人以上で行ないます。1人が  
ボールをよける人。他の人は  
ボールを投げ、当てることができたら  
交代します。



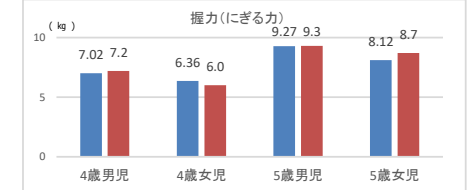
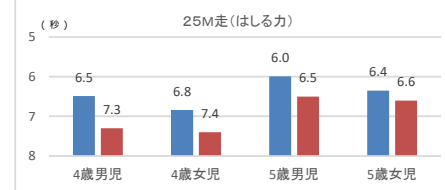
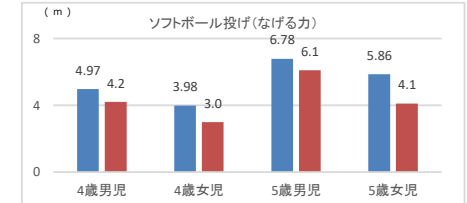
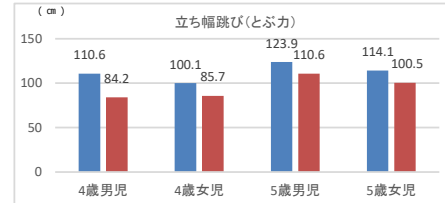
立ち位置に目印をつけ、動きに制限をつけても盛り上がりやすい。

・バランス感覚や調整力(ボールを投げる方向や力加減など)が身につきます。大人の声掛けや共に楽しむ姿で子どものやる気がグッとアップし、遊びが更に盛り上がります。  
・転倒や家具への衝突などないように保護者が声掛けをしながら遊んでください。

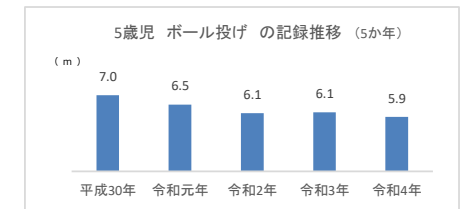
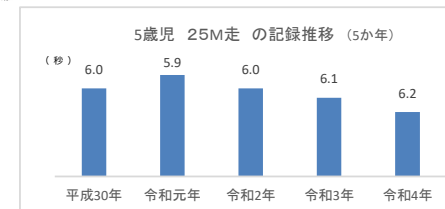
## 体力測定を行いました

・福祉会10園の4歳(260名)、5歳(274名)を対象として昨年10月に測定。  
・測定方法は「文部科学省幼児期運動指針ガイドブック」による。

■ 鳥取福祉会 ■ 全国平均



☆ ほとんどの種目・年齢で全国平均と比べると、平均がそれより高い数値となりました。全10園で統一した運動遊びの取り組みが高い数値につながっていると考えられます。



☆ 新型コロナにより保育園での様々な活動にも影響が及んでいます。密や接触をなるべく避けるため、長縄跳びやボールを使ったゲーム遊びなど集団活動も少なくせざるを得ず、記録に影響したと考えられる種目も見られます。春はすぐそこ…天気が良い日は公園に出かけるなどご家庭でも体を使った運動遊びを経験できる場を設けていきましょう。

## のびのびコラム

### スポーツは「する」だけじゃもったいない!

スポーツへの関わり方は多様です。スポーツは「する」ものだと考えがちですが、それだけではありません。スポーツを「見る」ことや「支える」ことも学びに満ちたものです。例えば「見る」スポーツ。スポーツ選手は時として人間の極限まで鍛え上げた体の動きと技を見せてくれます。調査では1年間で体育館・スタジアムなどに足を運んで直接スポーツを観戦した子供の割合が、小学1・2年生で27.7%、3・4年生で33.2%、5・6年生で38.6%となっています。プロ野球やJリーグサッカーなどの試合だけでなく、県や地域大会での真剣なゲームを見ることで子どもは感動と憧れをいだき、頑張ることの大切さを学ぶことでしよう。

そして「支える」スポーツ。スポーツ大会や選手のお世話、お手伝いなどの経験は、スポーツを支えることの大切さや面白さを気づかせてくれるチャンスにもなります。スポーツへの関わり方は多様です。お子様の興味・関心に合わせて、いろいろな楽しみ方をぜひ味わってください。

